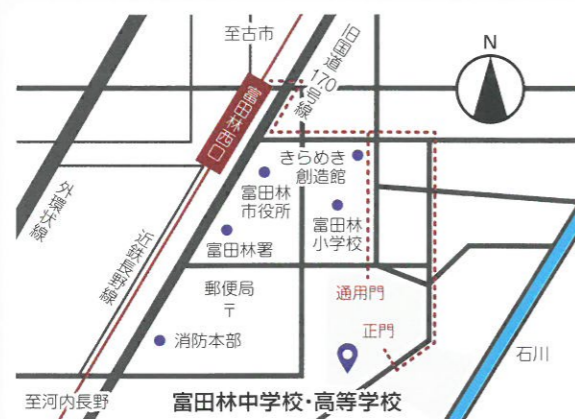


## ACCESS

大阪阿部野橋駅から最寄駅まで約30分  
近鉄長野線「富田林西口」下車 南へ500m



<https://tonko.ed.jp>



## 大阪府立富田林中学校・高等学校

〒584-0035 大阪府富田林市谷川町4-30  
TEL:0721-23-2281 FAX:0721-23-2204



大阪府立の中高一貫校(併設型)

## 大阪府立 富田林中学校・高等学校

SCHOOL GUIDE 2022 / 2023





# Challenge for the future.

## 未来に挑戦

### “Think Globally, act locally”

地球的視野に立ち、地域や国のことを考えて行動する。

そんな国際社会に貢献できる人材(グローバルリーダー)を育成します。

富田林中学校・高等学校では「グローバル(Global & Local)リーダーの育成」を教育目標として掲げています。

未来を切り開く強い意志と高い知性、そして豊かな感性を持つ人材を、ここ富田林の地で育てていきたいと考えています。

#### SSH(科学教育)

大阪府立高校の普通科として唯一のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校です。生徒自ら課題を発見して研究を進める「探究」の授業を軸に、富中サイエンスや各種講演会、サイエンスツアー・サイエンスTripなど様々な科学教育プログラムを用意しています。



#### グローバル教育

海外修学旅行や目的別海外研修など、海外との交流を積極的に行っています。さらに地域に根ざした科学系人材を育成するため、大学や研究機関などと連携しながら地域の特色を生かした課題研究を行うなど、地域との連携も重視しています。



#### 進路サポート

生徒一人ひとりの学習成績や大学合格の可能性を「見える化」。豊富なデータに基づく確かな進路指導を進めています。また、春休みを迎える前に行う新3年生を対象にした予備校講師を招いた集中講義、本校教員による講習など、進路サポートが充実しています。







**SSH** スーパーサイエンスハイスクール

## 富田林中学校・高校の「科学教育」

本校は大阪府立高校の普通科としては唯一のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校です。地域に根ざし、世界的な視野で活躍する「グローバル人材」を育成するため、生徒自ら課題を発見して研究を進める「探究」の授業を軸に、グローバルな視点も取り入れながら大学や地域の企業と連携するなど地域連携も重視した科学教育を進めています。

## 科学教育4つのポイント



富中サイエンス

知的好奇心を育み、学習意欲を高めるため、中学理科の枠を超えたサイエンスの深さ、面白さを学びます。



大学との連携

大学との連携を築き、研究室に赴き探究の発表を行って大学の先生方から指導、助言をしていただきます。



講演会

探究活動の内容と関連の深い分野の研究者の方を招聘し、最先端の研究内容についてご紹介いただきます。



サイエンスツアー・サイエンスTrip

科学的素養の育成のため、科学的施設や自然環境施設を訪問して、講演会や実習を実施していただいています。

「探究の仕方」を学び、「社会の様々な課題」を知り、「自分たちにできること」「社会貢献」について考える!

Check 1

### 探究活動



地域の企業とつながりを持ち、地域の課題を解決するため、中学1年生から成長に合わせて「問いを立てる力」「伝える力」などを育成しています。大阪府内の様々な分野の企業の方に出前授業やフィールドワーク、講演を依頼し、大学教授からの継続的なアドバイスをいただきながら実施しています。

Check 2

### 地域フォーラム



地域貢献活動の一環として「地域フォーラム」を毎年開催。「地域で取り組むSDGs」などのテーマのもとに、講演、パネルディスカッション、生徒研究発表、ポスターセッション、地域交流イベントなどを行っており、中学生・高校生が探究活動の成果を発表する場となっています。

## 富田林中高一貫校がめざす教育目標

グローバルな視野・コミュニケーション力・課題発見/解決能力・論理的思考力・社会貢献意識・地域愛

**GLOBAL**

グローバル教育

グローバル教育

## 国際交流の取り組み

富田林中学校・高等学校では、中高一貫校という強みを生かし、世界で活躍するグローバルリーダーの人材育成をめざして6年間を見据えたグローバル教育を推進しています。多様性を理解し、課題に対して論理的に考え、解決する力を養うとともに、国際社会に貢献できる人材になるためのコミュニケーション力、プレゼンテーション力を育成します。

### <グローバル研修Ⅰ>

多様性の理解



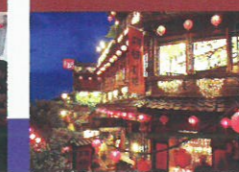
マレーシア  
(クアラルンプール)  
ホームステイ  
学校交流、地域体験

対象

(中1)・中2 ※希望者

### <グローバル研修Ⅱ>

中学修学旅行



台湾  
(台北)  
学校交流

中3全員

英語力の向上



オーストラリア  
(ブリスベン)  
ホームステイ  
学校交流、大学訪問

中3・高1・(高2) ※希望者

高校修学旅行



ベトナム  
(ダナン)  
学校交流

高2全員

### <グローバル研修Ⅲ>

英語を使った課題研究



アメリカ  
(シアトル)  
ホームステイ  
SDGsプログラム

高1・高2・(高3) ※希望者

Check 3

## ユネスコスクールに指定(2012年)

本校は2012年8月にユネスコスクールの認定を受けました。ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。本校では日本国内のユネスコスクールや海外の学校との交流活動を行っています。また、ケニアの子供たちへの支援活動などにも取り組んでいます。



地域連携

## コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入した学校です。

富田林中学校・高等学校では同窓会員や保護者、地域住民、有識者が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することで、育てたい生徒像や目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働できる仕組みを構築し、整備しています。

### 富校版コミュニティ・スクール

富田林中学校・高等学校コミュニティ・スクールネットワーク協議会

学校運営協議会

グローバル委員会

探究委員会

有識者・指導主事  
社会教育主事等

助言

生徒会等

参画

連携

広域外部サポーター

※学校の教育目標に共感する同窓会、地域住民、企業、大学、自治体などの団体

地域学校協働本部(NPO法人・学びと育ち南河内ネットワーク)



# CURRICULUM



## 富田林中高一貫校6年間の教育の流れ

### 基礎期(中1・中2)

生活習慣・身なり・挨拶を定着させる。  
学習習慣を身につける。  
学ぶ楽しさを知る。

### 充実期(中3・高1)

高校入学生と切磋琢磨し、  
広い視野と高い学力を身につける。  
自分で考える力を身につける。

### 発展期(高2・高3)

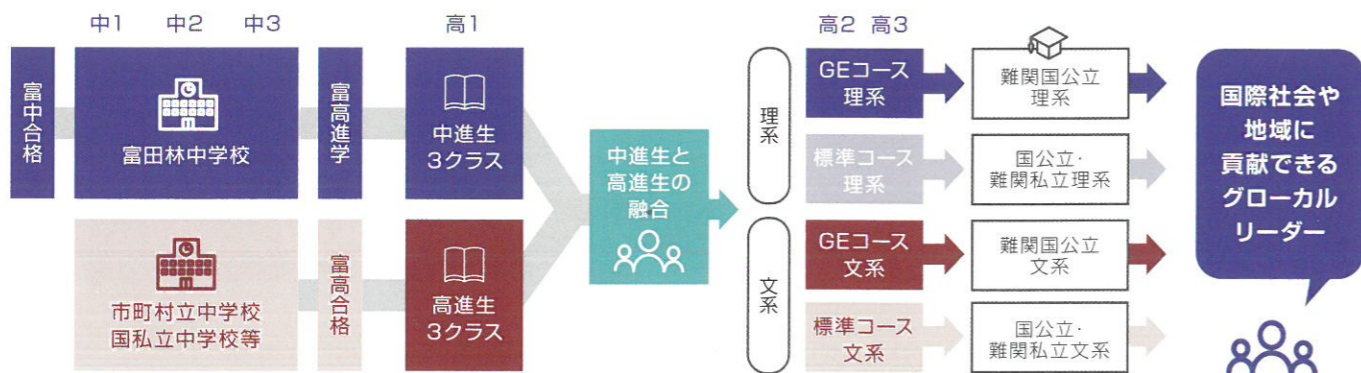
高い志を持って、  
自分の進路について研究し、  
進路実現に向かって努力する。

Check!

## 令和3年度に新設「Global Explorer 専門コース」

富田林中学校・高等学校は「地球的視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献する人材の育成」を教育目標としています。GE(Global Explorer)専門コースは、この目標に向かって、卓越した語学力や科学的知識を身につけ、世界の発展に貢献できる探究者をめざす生徒のために創設しました。この専門コースは、文系40名、理系40名の計80名の定員で、生徒の目標や希望に基づき、高校1年次の学習状況を鑑みて選考します。崇高な目標に向かって、「志」を遂げようという皆さんはぜひチャレンジしてください。

なお、本校ではSSH事業の一環として、全員が高校1年次に「グローバル探究Ⅰ」を履修し、知的好奇心を育み、探究する力を身につけます。2年次、この専門コースに進んだ者は、さらに思考力・判断力・表現力を高めるために、「グローバル探究Ⅱ」も履修し、より高い進路実現をめざします。

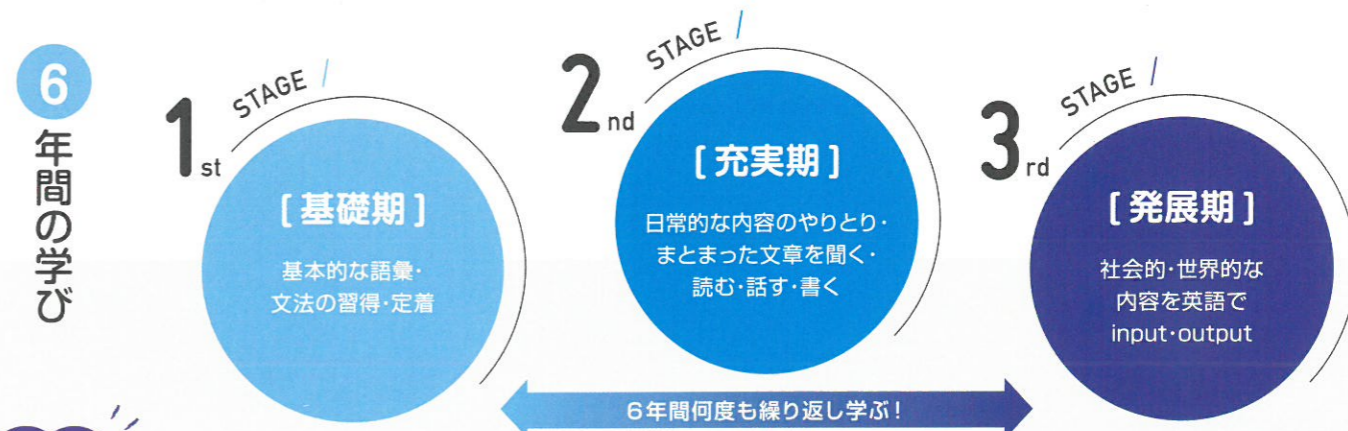


## 英語科の学び

# 豊かな英語力を身につけ、国際的な視野を育み、 国内外で活躍する人材になろう!



- <聞くこと> 身近なトピックから社会的な内容まで、自然なスピードで聞いて概要を理解できる
- <読むこと> 様々なジャンルの文章を一定時間内に読み、素早く情報を整理して全体の要旨を理解することができる
- <話すこと> 具体的な理由を示しながら自分の意見を述べたり、多様な表現を用いながら物事を描写・説明したりすることができる
- <書くこと> 複数の段落で論理的に、自分の意見・考えや情報を、多様な表現を用いながら書くことができる



### 中学校

英語 週4時間 + 英語コミュニケーション 週1時間

	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
1年	商品や映画などの説明 天気予報 短いアナウンス・インタビュー	パンフレット・広告 観光案内 簡単な記事・メール 短い物語	自分の持ち物や興味人物の紹介 1分程度のプレゼンテーション	自己紹介・学校行事や地域の紹介 感想文
2年	ルール・ニュース 日常的な話題 アナウンス	メニュー・ウェブサイト インタビュー原稿	地域 将来の夢 2分程度のプレゼンテーション	エッセイポスター 感想文
3年	放送・ボイスメッセージニュース 日常的な話題スピーチ	商品説明コラム記事 伝記 物語	自分の経験 身近な話題 社会的な問題についてのディスカッション	招待状 紹介文 社会的な話題についての感想文

\*文部科学省が定める標準の授業時間数よりも多い授業時数を確保し、週1回ネイティブスピーカーとのコミュニケーションの授業を実施。  
\*1,2年生では終日英語を用いてプレゼンテーション力、コミュニケーション力を磨くイングリッシュ・キャンプを実施。  
\*英文法は中学校教科書に加え、中高一貫校用教材を使用し、高校の内容にまで踏み込んで学習します。

### 高等学校

	英語コミュニケーション	論理表現	英語演習 共通(文系のみ)	実践英語 文系標準クラス (選択)	3年間を通した語彙 の学習
1年	基礎的なコミュニケーション能力の育成(4技能) 速読演習	英語で表現する力の育成 (ディベート・スピーチ・ライティング等)			コミュニケーションで使える語彙
2年	基礎的な文法の知識 GEクラス 標準クラス	英語で表現する力の向上 文法問題演習			共通テストレベル
3年	難関国公立・私立大学入試読解 問題対策演習 共通テスト演習 リスニング問題演習	入試対策 和文英訳・自由英作文 文法問題演習	難関国公立・私立大学入試 問題対策演習	具体的な使用場面を想定した演習 (資格試験・メール・ディスカッション... etc)	難関国公立・私立入試レベル



# 6年間で、計算力、論理的思考力、 数学的表現力を高い次元へ!

数学科においては、数学に興味関心を持ち、自分から進んで筋道を立てて考え、答えへとたどりつけることを目標としています。そこで、6年間の教科の学びを通じて、主に「計算力(数学的処理能力)」「論理的思考力」「数学的表現力」の伸長をめざしています。具体的には、教科書内容の履修を前提としつつ、3つのステージそれぞれに重点項目を設け、能力の伸長に努めています。これらの能力は、社会の課題を発見し、能動的に解決法を見出していく能力につながります。

6年間の学び

1st STAGE /

**[基礎期]**  
中学1・2年

計算練習の徹底的な反復、思考力や表現力を必要とする発展問題演習

2nd STAGE /

**[充実期]**  
中学3年・高校1年

高校内容を先行して学び、思考力や表現力を発展

3rd STAGE /

**[発展期]**  
高校2・3年

早期から発展的問題に触れ、思考力、表現力を深化、高い次元へ

中学校	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	【中1】 正の数・負の数 文字の式 方程式 【中2】 式の計算 連立方程式	【中1】 変化と対応 平面図形 空間図形 資料の活用 【中2】 一次関数 図形の調べ方	【中3】 式の計算 平方根 2次方程式 関数 $y=ax^2$	【中2】 確率と標本調査 図形と相似 【中3】 円の性質 三平方の定理	【数1】 数と式 2次関数 【数A】 場合の数と確率	【数1】 図形と計量 データの分析 【数A】 図形の性質
	STAGE 1		STAGE 2		STAGE 2	
	中学3年間の内容を学習。計算、数式処理の反復練習および論理的思考力、表現力の基礎的資質の醸成		中学3年で、高校内容を先取り学習。数学的表現能力、論理的思考力の伸長・発展			

高等学校	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
理系	【数II】 いろいろな式 指数関数・対数関数 【数A】 数学と人間の活動 【数II】 図形と方程式	【数II】 三角関数 微分・積分の考え 【数B】 数列 数学と社会生活	【数III】 極限 微分法・積分法 【数B】 統計的な推測 【数C】 ベクトル	【数III】 微分法・積分法 【数I II】 入試問題演習 【数C】 平面上の曲線と 複素数平面 数学的な表現の工夫	入試問題演習	
	STAGE 2		STAGE 3		STAGE 3	
	高校1年で数学II Bのほぼ全てを履修。数学的表現能力、論理的思考力の伸長・発展		高校2年生で、数学III Cを終了。高校3年生では、難関大合格に向けた入試演習で、数学的表現能力、論理的思考力を深化。			
文系	【数II】 いろいろな式 指数関数・対数関数 【数A】 数学と人間の活動 【数II】 図形と方程式	【数II】 三角関数 微分・積分の考え 【数B】 数列 数学と社会生活	【数I II AB】 入試問題演習 【数B】 統計的な推測 【数I II AB】 入試問題演習	入試問題演習		
	STAGE 2		STAGE 3		STAGE 3	
	高校1年で数学II Bのほぼ全てを履修。数学的表現能力、論理的思考力の伸長・発展		高校2年生から、難関大合格に向けた入試演習で、数学的表現能力、論理的思考力を深化。			

# 日本の言語文化を大切にしながら、 現代社会に必要な国語力を身につけよう!

国語科においては、社会生活に必要な国語の学習について、言語活動を通して、言葉で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざしています。そのために、6年間の教科の学びを通じて次のような目標を掲げ、広く豊かな視野を養い、考えを伝え聞き取る能力を育みます。特に高校3年生では発展的な問題演習に取り組み、難関大学受験にも対応した学力を育成します。

6年間の学び

1st STAGE /

**[基礎期]**  
中学1・2年

他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、考えを国語で正確に理解し適切に表現できるようになる。

2nd STAGE /

**[充実期]**  
中学3年・高校1年

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、他者との関わりの中で言語感覚を磨き、考えを的確に表現できるようになる。

3rd STAGE /

**[発展期]**  
高校2・3年

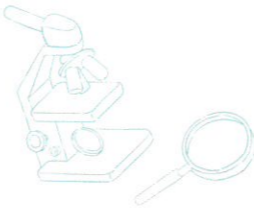
事象を論理的、批判的、創造的に考える力を養い、様々な観点から物事を捉えて自己の考えを的確にまた効果的に表現できる能力を身につける。

中学校	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
近現代の文章	読む 基本構造・三角ロジック・要約 語り手・人物相関図・情景描写・視点 行動描写・表現技法・詩	知識・理解 口語文法(言葉の単位・文の成分 品詞・自立語)・話し言葉と書き言葉	読む 発展的な論の展開・図表と文章・人物設定・ 例示・物語の転換点・象徴・想像・心内語・短歌	知識・理解 口語文法(用言の活用・付属語) 類義語、対義語、多義語・方言と共通語	読む 批判的な読み・具体と抽象・ 回想・状況と背景・反復・省略・ 俳句	知識・理解 口語文法の総復習 和語、漢語、外来語
話す・聞く	敬語、場に応じた言葉遣い/グループディスカッション/スピーチ/ビブリオバトルなど					
書く	調べたことを整理してレポートにまとめる 根拠を明確にして意見文を書く	手紙の書き方 構成を工夫して、説明文を書く	条件に応じて説得力のある文章を書く 観察、分析を通して物事を評価し批評文を書く			
書写	楷書と仮名	行書の書き方①	行書の書き方②	行書と仮名	目的に応じて効果的に書く	
	STAGE 1		STAGE 2		STAGE 2	

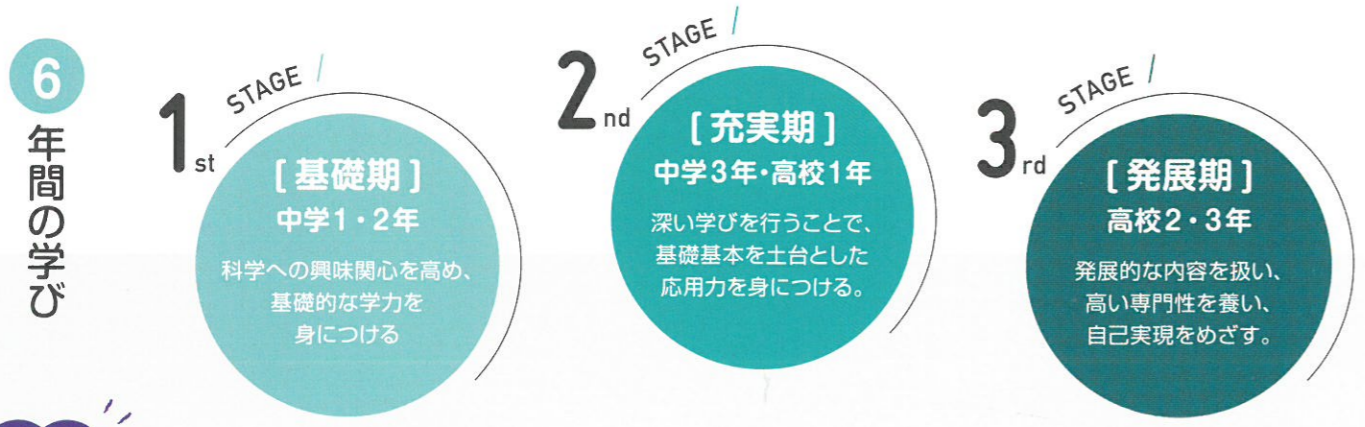
高等学校	1年		2年		3年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
近現代の文章	読む 文章の構成や展開・具体と抽象・対比や表現の 特色・文章の背景や他の文章との関係の理解	知識・理解 入試必修漢字と現代文重要語彙	読む 複数の文章や資料からの情報の抽出・主張を支える根拠や結論を導く 論拠の批判的検討・文章や資料の妥当性や信頼性の吟味	知識・理解 入試必修漢字と現代文重要語彙	発展問題演習	
話す・聞く	目的や場に応じて話す/論理展開を考える/自分の考えをスピーチ/資料のに基づいて話す/議論や討論					
書く	自分の立場や論点の明確化・多様な視点の 確保・主張を支える適切な根拠	情報の妥当性や信頼性の吟味・多様な論点や異なる価値観と 結び付いた新たな観念の提示	課題に対応した 小論文の実践演習			
古文漢文	読む 古文 歌物語や日記文学の読解・古典特有の 表現や章の構成、展開の仕方の理解 漢文 故事成語や近体詩、思想等の読解	知識・理解 古文 古典文法入門 用言(小テスト) 漢文 漢文入門、再読文字	読む 古文 随筆、物語、日記文学、古典における論理的な文章(歌論など)の読解・ 複数の古典作品の表現や思想の比較 漢文 古体詩や思想、史書の読解	知識・理解 古文 助動詞(小テスト) 助詞(適宜) 漢文 基礎的な句法	読む 古文 助動詞の復習と識別 文学史・敬語 漢文 文法事項・古典単語・ 文学史の総復習	知識・理解 漢文 表現の効果と関連 付けた文法の理解
話す・聞く	百人一首の暗唱・古文の朗読・和歌の朗読・漢文の白文からの音読・漢詩の朗読					
	STAGE 2		STAGE 3		STAGE 3	



# 科学に興味関心をもち、科学的にものごとを眺める視野と姿勢を身につけよう!



理科においては、科学に興味関心を抱き、物事を主体的に考え・判断する能力の育成をめざしています。そこで、中学校と高校という2つのステージにおいて、「科学への興味」を土台とした、主体的な学びが実現できるよう、カリキュラムを構成しています。具体的には、以下のような資質・能力を生徒が身につけられるよう、授業を展開しています。これらの能力は、社会の問題を発見し、問題を解決する能力につながります。



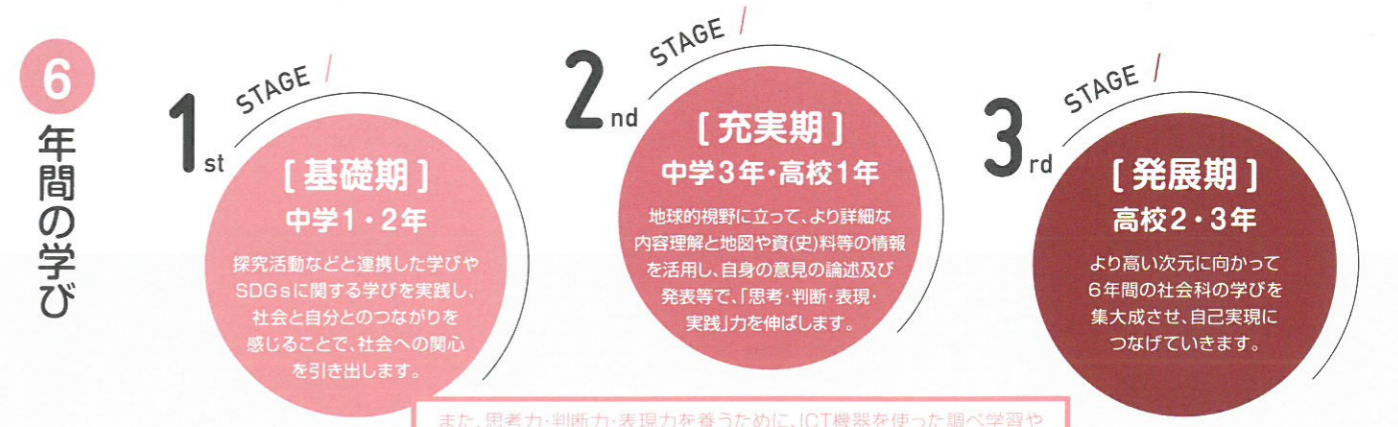
中学校	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野
1年	・力の働き ・光と音	・物質のすがた ・水溶液 ・状態変化	・生物の観察と分類の仕方 ・生物の体の共通点と相違点	・身近な地形や地層、岩石の観察 ・地層の重なりと過去の様子 ・火山と地震 ・自然の恵みと火山災害・地震災害
2年	・静電気 ・電流 ・電力と磁力	・物質のなりたち ・化学変化 ・化学変化と物質の質量	・生物と細胞 ・植物の体のつくりと動き ・動物の体のつくりと動き	・気象観測 ・天気の変化 ・日本の気象 ・自然の営みと気象災害
3年	・力の合成と分解 ・運動の規則性 ・力学的エネルギー	・水溶液とイオン ・化学変化と電池	・生物の成長と殖え方 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化	・天体の動きと地球の自転・公転 ・太陽系と恒星
	・科学技術と人間		・人間と自然	

高等学校	化学基礎		SS科学と人間生活		
1年	・物質の構成 ・物質の変化	・速度 ・加速度	・材料とその再利用 ・力	・生物の共通性と多様性 ・生物とエネルギー	・太陽系における地球 ・自然景観と自然災害
2年	SS理数物理	理数化学	SS理数生物	化学基礎演習	生物基礎
	・物体の運動とエネルギー ・剛体のつり合い ・運動量と力積 ・円運動と単振動 ・熱と気体分子の運動 ・波の性質 ・音と光 ・光の回折と干渉	・化学結合と結晶 ・物質の三態と熱運動 ・気体及び溶液の性質 ・物質とエネルギー ・電池、電気分解 ・化学反応の速さ ・化学平衡と電離平衡	・ヒトの体の調節 ・生物の多様性と生態系 ・生物の進化 ・生命現象と物質 ・遺伝情報の発現と発生	・物質の成分と構成元素 ・原子の構造と周期表 ・物質と化学結合 ・物質と化学反応式 ・酸と塩基の反応 ・酸化還元反応 ※上記の内容で問題演習	・遺伝子とその働き ・ヒトの体の調節 ・生物の多様性と生態系 ※入試問題の演習
3年	理数物理	SS理数化学	理数生物	化学演習	生物演習
	・電界と電位 ・電流 ・電流と磁界 ・電磁誘導と電磁波 ・原子・分子の世界	・非金属元素について ・典型金属、遷移元素について ・有機化合物の特徴と分類 ・脂脂肪酸化合物について ・芳香族化合物について ・天然高分子化合物について ・合成高分子化合物について	・生物の環境応答 ・生態と環境 ※入試問題の演習	・物質の成分と構成元素 ・原子の構造と周期表 ・物質と化学結合 ・物質と化学反応式 ・酸と塩基の反応 ・酸化還元反応 ※入試問題の演習	・生物の特徴 ・ヒトの体の調節 ・生物の多様性と生態系 ※入試問題の演習

# 富田林から世界をリードするチカラを身につけよう! ～思考・判断・表現・実践～



6年間の教科の学びを通じて、地図や資(史)料等からの確に情報を読み取り、適切な答えを出す「思考力」・「判断力」や、その答えを論理的にまとめ、適切に社会にアプローチする「表現力」・「実践力」を伸長することをめざしています。さらに、「よりよい社会を形成しようとする態度」や「多様性を認め合う寛容さ」を育てていきます。具体的には、教科書内容の学習を基本としつつ、以下の3つのステージそれぞれの発達段階に応じて目標を掲げ、社会の課題を発見し、能動的に解決法を見出し、実践していくチカラにつながります。



また、思考力・判断力・表現力を養うために、ICT機器を使った調べ学習やプレゼンテーションを、基礎的な知識・技能の獲得のために、反復演習やアクティブラーニングによる授業を行っていきます。

中学校	1年	2年	3年
地理分野	世界地理を学習 世界の地形、気候、産業、文化などの学習を、SDGsの視点を重視しながら行う。	日本地理を学習 日本の地理の学習を通し、防災の視点を重視しながら、一人ひとりが地域に貢献する意識・態度を養う。	
歴史分野	日本と世界の古代・中世を学習 南河内探究と連携しながら、身近な地域の歴史に関心をもち、歴史を学び未来を考える力を養う。	日本と世界の近世・近代を学習 史資料を活用する機会を多く設定しながら、歴史を学び未来を考える力を養う。	日本と世界の近代・現代を学習 国際情勢・平和などをテーマにした調べ学習などを行い、歴史を学び未来を考える力を養う。
公民分野			「公民」を学習 これまでの地理・歴史の学習を発展させ、人権問題など現代社会の諸課題に対して自分の意見を持ち、議論・プレゼンテーションする力を養う。

高等学校	1年	2年	3年
地理分野	「地理総合」を学習 中学地理の学習内容を発展させ、系統的に整理していく。GISを活用した環境問題学習、防災学習等を行う。		「地理探究」を学習 「地理総合」の学習を発展させ、地理に関わる事象について、系統的・地誌的に考察したり、議論したりする力を養う。また、進路実現に向けて、演習を含む講習を行う。
歴史分野		「歴史総合」を学習 日本史と世界史の関連性を重視し、グローバルな視点を養う。地域学習等を通じて資料を読み解く力や考える力を養う。	「日本史探究」「世界史探究」を選択して学習 「歴史総合」の学習を発展させ、日本の歴史に関する事象または、世界各国の歴史事情についてより理解を深めるために主体的に学ぶ。また、進路実現に向けて、演習を含む講習を行う。
公民分野	「公共」を学習 身近な題材から社会への理解を深め、課題と向き合い解決する力を身につけることを目標にする。また、持続可能な社会の実現に向けての学習も行う。	「倫理」「政治・経済」を学習 「公共」の学習を発展させ、現代の諸課題について多面的な考察や深い理解を促すとともに、進路実現に向けて、演習を含む講習を行う。	

自己実現へ!



芸術

中学校

音楽

Table with 6 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期), 3年 (前期, 後期). Content includes singing techniques, instrument playing, and music theory.

美術

Table with 6 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期), 3年 (前期, 後期). Content includes drawing, design, and sculpture.

高等学校

音楽

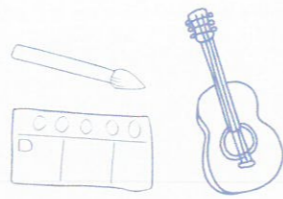
Table with 4 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期). Content includes singing, instrumental playing, and music analysis.

美術

Table with 4 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期). Content includes drawing, design, and sculpture.

書道

Table with 4 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期). Content includes calligraphy practice and theory.



技術・家庭

中学校

Table with 6 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期), 3年 (前期, 後期). Content includes technical skills and home economics.

高等学校

Table with 4 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期), 3年 (前期, 後期). Content includes information technology and home economics.

保健体育

中学校

Table with 6 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期), 3年 (前期, 後期). Content includes physical education and health.

高等学校

Table with 4 columns: 1年 (前期, 後期), 2年 (前期, 後期), 3年 (前期, 後期). Content includes physical education and health.



# LEARNING SYSTEM



## 進路実績 (令和3年度入試)

<b>国立大合格者数</b> 大阪大、神戸大 他 (現役34名 / 浪人3名)	<b>37名</b>	<b>公立大合格者数</b> 大阪市立大、大阪府立大 他 (現役21名 / 浪人5名)	<b>26名</b>
<b>関関同立合格者数</b> (現役186名 / 浪人12名)	<b>198名</b>	<b>産近甲龍合格者数</b> (現役265名 / 浪人13名)	<b>278名</b>

## 志望大学に対する学習への取り組み

### 見える化システム

志望大学に対して、現時点での自分の学力(合格可能性)がどの程度なのか判断できる「富高見える化システム」というソフトを開発しました。システムには、これまでの本校卒業生の大学受験結果と現役時に受験した模擬試験(ベネッセスタディサポート・進研模試・河合塾全統模試)の偏差値が蓄積されています。生徒は、大学に合格した先輩たちの実力(それぞれの模試成績)と自分の模試結果を比較しながら、志望大学・学部合格の可能性を探ることができます。

### 生徒手帳

本校は独自の生徒手帳を作成しています。生徒たちはその手帳に日々の学習時間を記録し、毎朝のSHRで担任と副担任と話をしながら自分の学習状況を確認しています。さらに、毎月、学年ごとに生徒の学習時間を集計し、進路通信でフィードバックすることで、勉強時間を確保しようとする意識が高まるようです。



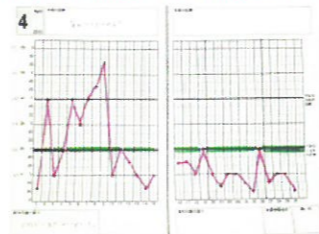
### ICT設備

一人ひとりに丁寧な学習指導をすすめています。全ホームルーム教室にICT機器が設置され、わかりやすい授業を行っています。また、生徒の発表用のツールとしても活用しています。

志望大学は神戸大学・工学部となっています



生徒が日々の勉強時間を記録することで、自分の学習状況を客観的に把握できます



## 卒業生の声

# MESSAGE

### 京都大学 法学部 梅田 朋子

57期卒業生

皆さんの中には、「自分の将来の夢がわからない」という方が大勢いると思います。私は、そういう方にごそ、是非、勉強を頑張ってくださいと思っています。私は、勉強とは、将来、自分の夢を見つけたときに手遅れにならないように高校生の間にできる唯一の準備であって、学歴とは、「努力ができること」の証明であり、自分の選択肢や可能性を広げてくれるものと考えています。また、一生懸命努力して入った大学では、優秀で尊敬できる友人たちと、素晴らしい刺激に満ちた日々を送ることができます。私は、富田林高校在学中、先生方に、「京都大学に行きたい」と伝えていました。すると、先生方はいろいろな勉強方法や制度について積極的に調べて教えてくれました。富高生活を楽しみながら最後まで妥協せずに挑むことができたのは、先生方のおかげだと思っています。弁護士という仕事はとても面白いです。皆さんも是非、富田林高校で目標に向かって、全力で勉強を頑張ってください。応援しています。



### 神戸大学 国際人間科学部 森田 隆大

73期卒業生

富田林高校を表す言葉は、「ぜんぶ全力」です。私はこの言葉がとても好きで、その言葉通り勉強・部活動・行事・その他の活動すべてに全力で取り組むことができる環境が富田林高校にはあると思います。たとえば、コロナウイルスの影響で例年とは全く違う一年間となった高校最後の一年、最後まで悔いなく部活動をやり切って引退することができ、さらに最高の文化祭・体育祭を過ごせたのは、富田林高校だったからだと思います。また、高校の研修・修学旅行で海外を訪れ、様々な発見・学び・体験ができたことは現在の進路に大きくつながりました。忙しく、上手くいかなかったり悩んだりすることもたくさんありましたが、それでも頑張れたのは仲良くしてくれた友達との楽しい毎日があったからだと思います。そんな友達ができたことだけでも、富田林高校に通えてよかったなと思います。同じ立場や目標、思いを持った友達、自分たちを全力でサポートし教えてくださる先生方と色々な活動に全力で取り組めた3年間は一生忘れられないものになりました。ぜひ多くの人に楽しく、大切な高校生活を富田林高校で過ごしてもらいたいと思います。



### 岸本 忠三さん

(免疫学者、大阪大学特任教授)

1939年富田林市生まれ、富田林高校10期生。大阪大学医学部卒業。海外経験を経て同大学細胞工学センター教授、医学部内科学教授、医学部長、1997年に同大学総長に就任。2003年より名誉教授、現在大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授。免疫学の権威であり、種々の生理現象や炎症・免疫疾患の発症メカニズムに関与している糖タンパク質である「インターロイキン6(IL-6)」の発見で知られる。このIL-6の働きを抑えるアクテムラが、今、新型コロナウイルスの治療薬として脚光を浴びています。国内では1998年に文化勲章、海外では2009年に日本人初となるクラフォード賞受賞、2017年にはキング・ファイナル国際賞、2020年Tang Prize受賞等国内外において数々の賞を受賞されています。



長い間、人類を苦しめている難病の「リウマチ」を克服する薬を開発したのが富田林高校の大先輩、岸本忠三先生です。日本初の免疫治療薬アクテムラを苦勞の末に開発した岸本先生は、「10年後には、関節リウマチで車いすの生活を余儀なくされる人がいなくなるだろう」と、世界中から称えられました。先生は、現在も大阪大学で学生に教えています。「何でやる?」という素朴な疑問が、研究の原動力だ。「自分が開発した薬で難病と言われた病気が治っていく。これこそ自分が生きていく証やなと思う。」とおっしゃっています。そして、新しい世代に期待をかけて、新しい富田林中高一貫校を応援していただいています。岸本先生こそ、私たちのめざす「探究」と「貢献」の実践者です。

岸本先生の口癖「社会のためになる人になれ」を心に抱き、この富田林中学校・高等学校で深い「学び」を実践しましょう。未来に挑戦!



# ANNUAL EVENTS



4 April

- ・入学式
- ・始業式・対面式
- ・中高一貫校用 学力推移調査
- ・全国学力・学習 状況調査(3年)

5 May

- ・創立記念日
- ・PTA総会

6 June

- ・大阪府中学生 チャレンジテスト(3年)
- ・文化祭(中高合同)
- ・富中サイエンス(1年)
- ・カウンセリング週間
- ・中間テスト
- ・学年保護者説明会

7 July

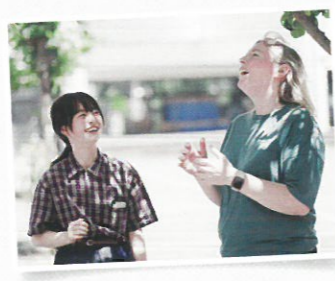
- ・芸術鑑賞(中高合同)
- ・学校説明会
- ・保護者懇談
- ・富中サイエンス(1年)

8 August

- ・オープンスクール

9 September

- ・体育祭
- ・中高一貫校用 学力推移調査
- ・カウンセリング週間
- ・期末テスト



仲間と一緒に高め合っていくことで  
大きなことでも頑張れる!

## 富田林中学校 生徒会長 鉄本 雄吾

富田林中学校には、自分たちで考えて進める魅力的な取り組みがたくさんあります。大きな学びの柱である「探究学習」では、班の仲間と役割を分担し、それぞれが調べたことを持ち寄り話し合いを進めていきます。様々な資料を調べたり、実際にフィールドワークをしたりして深く考えることは、「探究学習」の中でしか体験することができなかったと思います。「地域フォーラム」という学校の行事では、自分たちが探究したことを発表しました。高校生や違う学年の人たちが真剣に聞いてくれたことや、探究したことをみんなに知ってもらえたことは、すごくうれしかったです。また高校の先輩の発表も見ることができて、様々な知識を得る良い機会になりました。文化祭ではクラスみんなで協力し合い、企画から本番まで創り上げました。一人でやるのではなく、仲間と一緒に高め合っていくことで大きなことでも頑張れます!



10 October

- ・始業式
- ・保護者懇談
- ・学校説明会
- ・総合学力調査

11 November

- ・修学旅行(3年)
- ・中間テスト
- ・探究フィールドワーク(2年)

12 December

- ・イングリッシュ キャンプ(1年)

1 January

- ・英語4技能測定テスト
- ・中学校入学者選抜
- ・中高一貫校用 学力推移調査(中3)
- ・大阪府中学生 チャレンジテスト(1・2年)

2 February

- ・実力テスト(3年)
- ・探究学年発表会
- ・期末テスト

3 March

- ・地域フォーラム (総合学習発表会)
- ・高校入学者選抜
- ・地域貢献活動
- ・イングリッシュ キャンプ(2年)
- ・卒業式(3年)
- ・修了式(1・2年)

ぜんぶ全力!





# CLUB ACTIVITIES



## 中学部活動紹介

**運動部** 男子バスケットボール部 / 男子ソフトテニス部 / 女子バレーボール部 / バトントワリング部 / サッカー部 / 女子硬式テニス部 / 陸上競技部

**文化部** 科学部 / 写真部 / 茶道部 / ユネスコ部 / 書道同好会

**運動部** サッカー部 / 硬式野球部 / 陸上競技部 / 硬式テニス部 / ソフトテニス部 / 男子ハンドボール部 / 女子ハンドボール部 / ラグビー部 / 水泳部 / 男子バレーボール部 / 女子バレーボール部 / バドミントン部 / 男子バスケットボール部 / 女子バスケットボール部 / 剣道部 / 卓球部

**文化部** バトントワリング部 / ダンス部 / 茶道部 / 吹奏楽部 / 科学部 / 美術部 / 軽音楽部 / 放送部 / ユネスコ部 / 写真部

## 高等学校部活動紹介

# FAQ

### 1. 富田林中学校・高校はどのような生徒を育てたいと考えていますか。

富田林中学校・高校では「地球的視野に立ち、地域や国のことを考えて行動し、国際社会に貢献する“グローバル人材”を育成すること」を教育目標としています。そのため、①グローバルな視野とコミュニケーション力、②論理的思考力と課題発見・解決能力、③社会貢献意識と地球愛という3つの資質能力を育成し、高い志と意欲を持って主体的・協働的に考え行動できるような生徒を育てたいと考えています。

### 2. 富田林中学校・高校が優れている点は何でしょうか。

海外を含めた豊富な体験学習をはじめとする学校行事など、21世紀を生きるたくましいグローバル人材を育成するためのカリキュラムや、「探究」と「貢献」をキーワードとした教育活動を準備しています。

### 3. 中高一貫校に通うことの魅力はどこにありますか。

富田林中学校・高校では6年間を見据えた計画的なカリキュラムを準備しているので、中学生の段階から高度な授業で高い思考力・判断力や表現力を身に付けることができます。また高校受験がないため中学生の間に部活動や体験学習にも打ち込むことができます。行事や部活動などを通して高校生との交流も活発なので、異なる年齢の生徒間で豊かなコミュニケーション能力を育むことができるのも魅力です。

### 4. 富田林中学校・高校のどのような目標で英語学習が行われていますか。

英語で自分の意見をまとめてプレゼンテーションをしたり、議論をしたりすることができる英語力を身に付けることをめざします。具体的には朝のホームルーム、イングリッシュキャンプ、総合的な学習の時間・探究の時間をういた海外との交流(オンラインを含む)、外部検定試験への取り組み、国内外の英語研修など、多様な場面で英語を使う機会を設けています。

### 5. 修学旅行はどこに行きますか。また海外研修などは充実していますか。

中学校は台湾、高校はベトナムに行くことを予定しています。どちらも市内見学だけでなく、現地の中学校・高校を訪問し、同年代の海外の生徒と交流するプログラムも予定しています(台湾で訪問する学校は本校の姉妹校です)。海外研修は中学生にはマレーシア研修、中学3年生と高校生にはオーストラリア研修、高校生にはアメリカ研修を予定しており、中高一貫校の利点を生かして6学年の生徒それぞれの発達段階や教育目標に合わせたプログラムを準備しています。

### 6. 富田林中学校・高校での生活は忙しそうですが、ついていけるでしょうか。

富田林中学校・高校では、授業や部活動だけでなく行事や講演会、多種多様な研修など皆さんの感性を刺激する様々なプログラムを準備しています。確かに本校で過ごす6年間は忙しい日々になるかもしれませんが、このような中で授業についていくためには予習・復習が欠かせません。しかし、中学生・高校生の時期に、高い志を持つ仲間と共に様々な活動に主体的に取り組む経験は何ものにも代えがたいものであり、このような経験を積み6年後にはきっと大きな成長を遂げているはず。皆さんの先輩も「ぜんぶ全力」をモットーに様々な活動に積極的に取り組み、部活動も高い加入率を誇ります。本校では生徒手帳を活用して毎日の学習時間を記録する取り組みを行っているため、こうしたツールや学校でのサポート等を上手く活用しながら生活・学習習慣を整え、ぜひ6年間を充実した日々にしてほしいと考えています。

### 7. 学校の設備について、特徴的なものはありますか。

全HR教室・講義室にエアコン・ICT機器(電子黒板機能付きのプロジェクタ、書画カメラ)を設置しています。また平成30年6月に「中高一貫校記念館」が完成し、講演や探究活動の発表会などに活用する階段状の大講義室(360人収容可)や、授業に活用できるセミナー室(40人収容が3室)などを有効に活用しています。また本校の食堂にはエアコンが設置されており、メニューも豊富で部活動がある休日などにも営業しています。

### 8. 学校内で、中高生徒間にはどのようなかわりがありますか。

文化祭や体育祭等の行事を合同で実施します。また部活動も活動内容によっては合同で行っています。

### 9. 入学者選抜についてはどこを参照すればいいですか。

入学者選抜についての詳細は大阪府教育委員会のホームページに掲載していますので、そちらをご参照ください。